

2024年11月28日

定常観測点検討ワーキンググループ報告

2024年8月28日10:30-12:15 オンライン

出席者:高橋(主査:北大)・前田(弘大)・岡田/内田(東北大)・浅野(防災科研)・矢部(産総研)・加藤・蔵下・酒井(地震研)・青木(気象庁)・山中(名大)・大見(京大防災研)・大久保(高知大)・松島(九大)

オブザーバー:久利・近藤(文科省地震火山防災研究課)・大湊・林元・山崎(企画部)

【報告の概要】

- 各機関から基盤的観測点(微小地震)及び地震関係観測点の現状が報告された
- 大学では、観測点の廃止を進めている機関や、観測網のスリム化を完了した機関がある
事由は予算、アクセス困難、担当者の退職等
- 気象庁・防災科研は観測点の廃止は予定していない
- 大学の VSAT 観測点は代替衛星により継続される見込み
- 獣害対策が観測点維持の大きな問題となっている

以上